

小田原市文化財保存活用地域計画

かわら版

第 2 号

令和6年3月

小田原市では、市内の文化財の保存・活用を進めていくことを目的に「小田原市文化財保存活用地域計画」の作成を進めています。ホームページやかわら版で、検討の途中過程を市民の皆さんにお知らせしていきます。



地域ワークショップを実施しました

地域で文化財に関わっている団体等の視点からの身近な文化財や活動に関する意見交換などを目的に、2回のワークショップを実施しました。活動を通して感じている課題に加えて、地域の皆さんにとっての文化財の魅力や活かし方のアイデアなど、様々な意見をいただきました。ワークショップでのご意見は、計画の中で課題や方針などに反映していきます。

板橋地区まち歩き

小田原ガイド協会とともに、皆春荘から旧東海道を通り松永記念館までのまち歩きを行いました。市内の文化財を巡るまち歩きの楽しみ方をお聞きしながら、より魅力的な文化財のPR方法や歴史的建造物の活用などについて貴重な意見をいただきました。



上府中地区

上府中地区まちづくり委員会のご協力のもと実施し、39名が参加しました。こども会もなくなり、お祭りなどの参加者・担い手が減っている課題があげられる一方で、わかる人がいるうちに話しを聞く、回遊コースをつくる、出土品をもっとこども達に見せたいなどのアイデアが出ました。



小田原市文化財保存活用地域計画策定に係る懇話会

計画の作成に向けて、令和6年3月12日（火）に第2回小田原市文化財保存活用地域計画策定に係る懇話会を開催しました。懇話会は、学識者、所有者、関係団体、市民団体代表、市関係課の15名で構成されます。アンケートやワークショップの報告を行い、若い世代の意見をもっと集めてはどうか、アンケートで出された身近な文化財を計画できちんと取りあげるのが重要、学校教育との連携が大切、などのそれぞれの立場からの多様な意見が出されました。



文化財保存活用地域計画とは

文化財は、長い歴史の中で生まれ、はぐくまれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な地域の財産です。「小田原市文化財保存活用地域計画」は、文化財保護法にもとづく、小田原市における文化財の保存と活用に関する総合的な計画です。小田原市の歴史文化と文化財が持つ価値と魅力を市民で再発見・共有し、市民総ぐるみの文化財の保存・活用の方針を示し、それを具体化する取組を定めます。

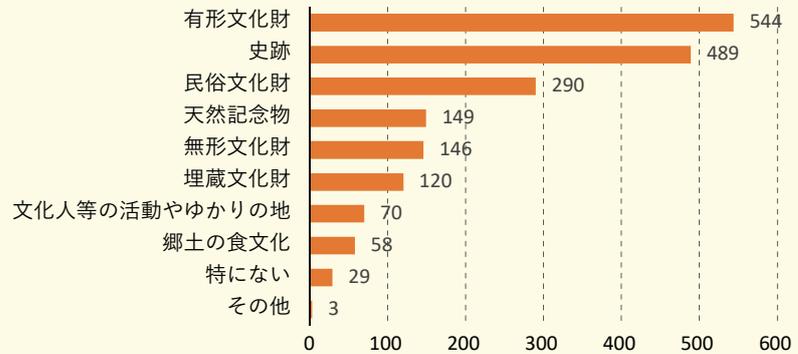
小田原市の文化財に関するアンケート

計画の作成に向けて、市民の皆さんの文化財に対する意識を把握することを目的に、アンケート調査を実施しました。アンケートは自治会の小田原市広報委員にご協力いただき、市全域、1,250部を配布し、974件の回答をいただきました。アンケートでは、文化財に対する意識の他にも、“身近な文化財”についてもお聞きし、1,155件の有形・無形の地域のおたからが出されました。神社や寺院、道祖神およびその祭礼などが多くあげられ、地域で大切にされていることがうかがえます。

意識調査の概要を以下に紹介します。

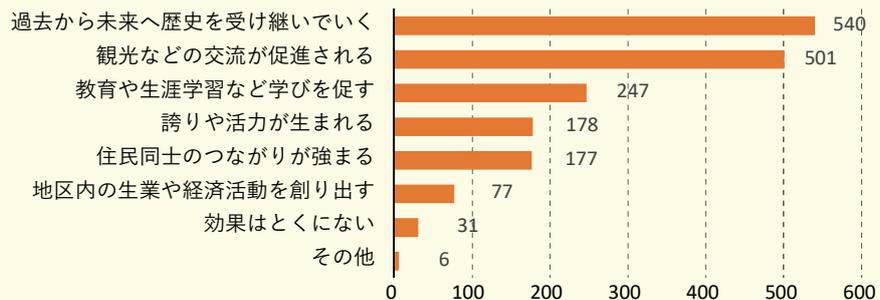
小田原市にとって**大切**と思う文化財

有形文化財、史跡に多くの回答がありました。小田原市の特徴的な文化財ということが出来ます。一方でお祭りなどの民俗文化財、食文化・伝統技術などの無形文化財、動植物などの天然記念物など、より身近な文化財も重要です。



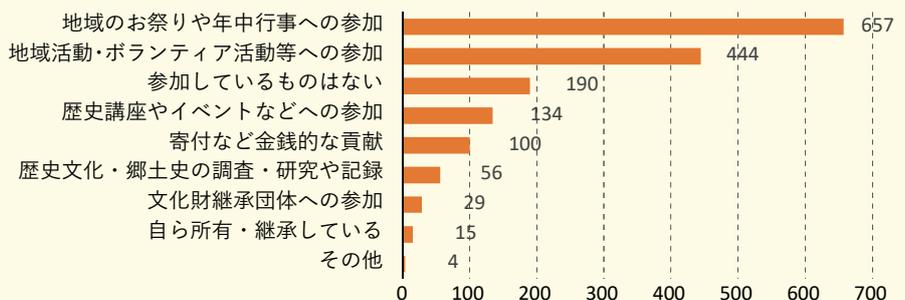
文化財がもたらす**効果**

歴史の継承、観光などの交流が多く回答されました。今後、文化財を観光などに積極的に活用していくことが期待されています。



文化財への現在の**関わり**

お祭りや年中行事に参加している方は多く、地域活動やボランティア活動に参加しているという回答も多かったです。地域のなかで文化財が大切にされていることをうかがうことができます。



保存・活用の重要な**テーマ**

確実な継承が最も多く、文化財の重要性は共有されていることがわかります。次いで観光、地域のまちづくりに多く回答があり、今後の文化財を活用で考えていく上で重要なテーマということが出来ます。

